



総務省

謹んで新年のお慶びを申し上げます

近畿総合通信局長 佐々木 祐二



2020年の幕が開けました。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

近畿総合通信局は、「ICTで人と関西の未来につながるやさしい社会へ～ Society5.0」を掲げ、次の施策に取り組んでまいります。

まず、災害に強いICT基盤の整備促進です。

近年、想定を超える自然災害が頻発しており、昨年も、台風15号等による甚大な被害が発生し、今後も防災、減災のための取組の強化が求められています。

当局では、同報系防災行政無線のデジタル化による自治体への高度利用の提案や助言を行うほか、災害発生後に自治体等が開設する臨時災害放送局（FMラジオ）の開設支援を行い、同設備を無償で貸し出すこととしています。

また、災害情報共有システム「Lアラート」の充実を図るほか、コミュニティ放送局の中継設備の整備支援など、強靱な情報通信ネットワークの整備を促進します。

さらに、漁業無線の災害時の活用、防災拠点におけるWi-Fi環境の整備支援、災害時の移動電源車等の貸出しに引き続き取り組みます。

次に、地域経済の発展に向けたICT社会実装の推進です。

特に今年は5Gのサービスが開始される「5G元年」であり、中でもローカル5Gについては地域ニーズを踏まえた開発実証を推進します。

また、ICT関連ビジネスの創出・スタートアップ企業の支援、中小企業のIoT導入・利活用に向けた支援を行うことで、IoT人材の育成に努めます。

さらに、競争的資金による若手研究者・ベンチャー企業の支援を行うなど、関西の企業、大学・研究機関等と連携してICT分野におけるオープンイノベーションの環境整備を推進します。

三つ目に、安心・安全で快適なICT利用環境の確保です。

関西におけるサイバーセキュリティ分野の人材育成・機運醸成等を図るため、「関西サイバーセキュリティ・ネットワーク」（共同事務局：当局、経済産業省近畿経済産業局、(一財)関西情報センター）において、サイバーセキュリティに関する周知啓発などに取り組みます。

また、スマートフォンやインターネットの安心・安全な利用に関する周知啓発活動として、出前講座「e-ネットキャラバン」の充実を図るほか、「スマートフォン時代に対応した青少年のインターネット利用に関する連絡会」を中心として、インターネット・リテラシー向上のため「動画フェスタ」を開催し、啓発活動の推進を図ります。

最後に、電波利用環境の整備です。

電波の有効利用については、滋賀県琵琶湖における船舶の安心安全な航行と消防及びマリナー等関係機関の円滑な活動を支援する無線通信システムの構築と社会実装を目指して検討を進めています。

また、電波の利用環境保護については、国民生活の安心・安全を支える放送、警察、消防、鉄道等の重要無線通信に対する妨害に対し、さらに本年は、東京オリンピック・パラリンピック大会の成功に向け、監視体制を強化します。加えて、捜査関係機関と協力して不法無線局の共同取締りを実施し、良好な電波利用環境の維持に取り組みます。

以上、本年も変わらぬご支援をよろしく申し上げます。